

2022年1月31日

JR西日本プロパティーズ株式会社

## 九州初<sup>\*1</sup>！リユース太陽光発電モジュールを使用した オンサイト PPA モデル<sup>\*2</sup>を導入

不動産分譲・賃貸事業およびホテル・レジャー事業等を手掛ける JR 西日本プロパティーズ株式会社（東京都港区 代表取締役社長：森克明 以下当社）は、当社九州支社において脱炭素に向けた取り組みを積極的に進めております。今回、その一環として、当社が所有する神の島センタービル（長崎市神の島町）において、リユース太陽光発電モジュールを使用したオンサイト PPA モデル<sup>\*</sup>を用いた電力を導入いたします。

なお、オンサイト PPA モデルにおいて、リユース太陽光発電モジュールを使用する事例は、九州内で初めての取り組みとなります。

当社九州支社では、使用する全電力を五島産および再生可能エネルギーに変える「五島版 RE100」の取り組みに賛同し、昨年9月に五島版 RE100 認定委員会（事務局：福江商工会議所 委員長：清瀧誠司）から島外第1号事業者としての認定を受けております。今回、より安価な再生可能エネルギー電力の受電方法として、一般社団法人離島エネルギー研究所（長崎県五島市 代表理事：木村誠一郎）の協力のもと、リユース太陽光発電モジュールを用いたオンサイト PPA モデルを採用いたしました。使用する太陽光発電モジュールにリユースモジュールを使用することで、太陽光パネルの廃棄物発生抑制や製造時などに発生するCO<sub>2</sub>の削減を目指します。今後は2025年度を目標に、当社九州支社が管理する賃貸オフィスを順次CO<sub>2</sub>ゼロとしていく計画です。

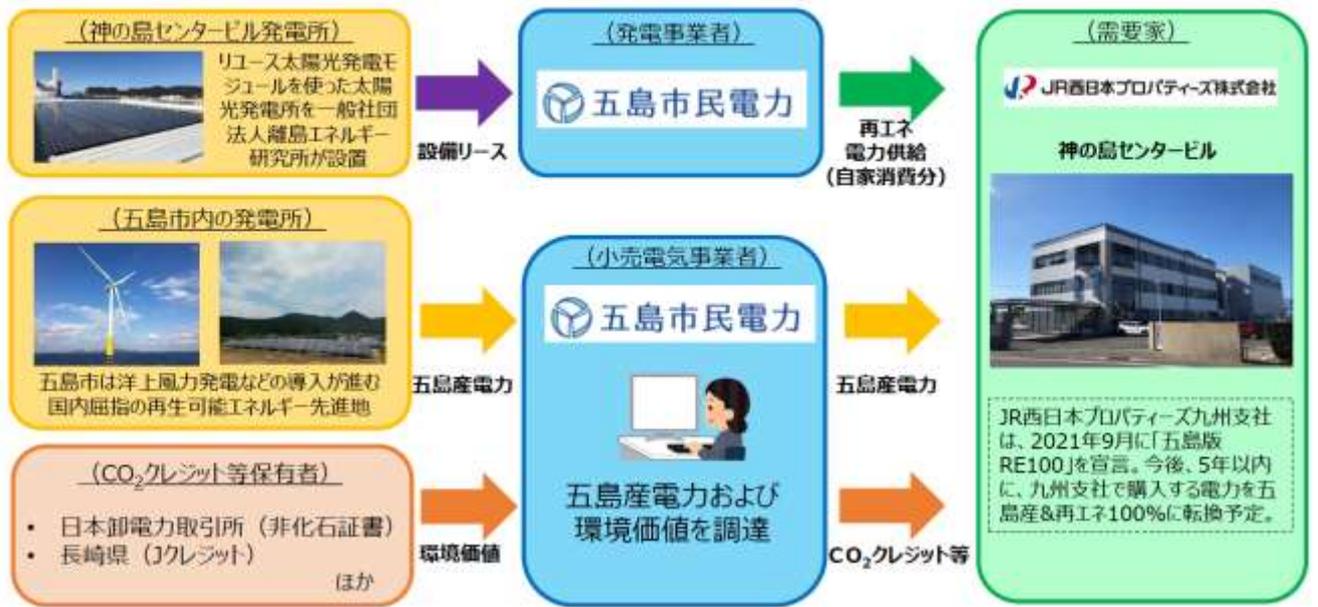
なお、オンサイト PPA 契約については、五島市民電力株式会社（長崎県五島市 代表取締役社長：橋本武敏）と締結すると共に、余剰電力についても、当社の別オフィスで活用することを検討しております。

当社では、JR西日本グループの一員として、2050年のグループ全体でのCO<sub>2</sub>排出量ゼロ実現に貢献してまいります。

\* 1：一般社団法人離島エネルギー研究所調べ（2022年1月時点）

\* 2：オンサイト PPA モデルとは：電力を使用する建物に、建物所有者以外の第三者（発電事業者）が発電設備を設置し、直接電力を供給するビジネスモデル。維持管理は発電事業者が実施することから、初期投資を伴わずに発電設備を導入することができる。

(参考) オンサイトPPAモデルを含めた電力の再エネ化の取り組み (神の島センタービル)



【問い合わせ先】

J R西日本プロパティーズ株式会社 九州支社 TEL (095) 865-5850